

平成29年7月7日
相模原市発表資料

『相模原市史 近代資料編』を刊行しました

相模原市史続編（全10巻）の9巻目『相模原市史 近代資料編』を刊行しましたのでお知らせします。

本書は、市史編集委員会近現代部会（部会長 金原左門・中央大学名誉教授）が執筆、内容の検討を重ねて編集したものです。

内 容

『近代資料編』は、旧市域（津久井郡4町と合併する以前の相模原市域）に関する、既刊市史では扱われていなかった大正2年から昭和20年までの文書類を中心に、明治期を加えた657点の資料を掲載しています。

相模原市のまちづくりの基盤となった軍都計画の実態を資料面から明らかにしています。

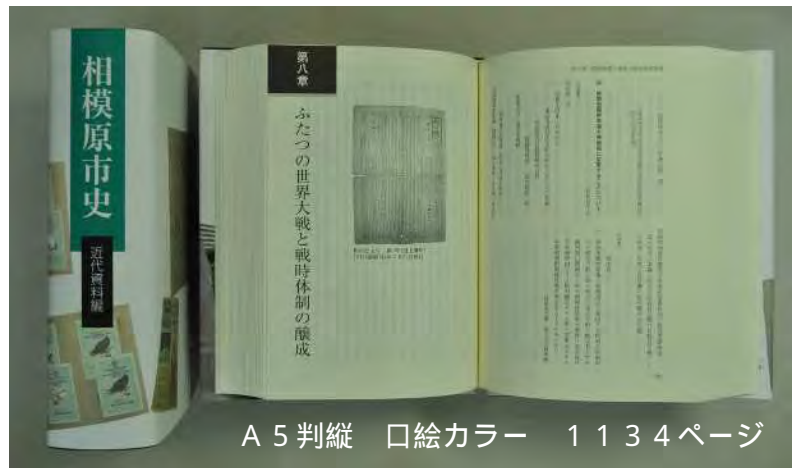
巻末に、麻溝村役場資料の「時局関係綴」に綴られている、昭和20年に相模原町役場から出された通知・通達・回覧等を全て掲載しました。「時局転換下」の生活が推測できる資料群になっています。

閲覧・販売

市内の学校等に配布するほか、市内及び近隣自治体の図書館や市内の公民館図書室などで閲覧できます。

有償頒布価格は3,240円で、市役所行政資料コーナー（本庁・各区役所・各総合事務所（城山総合事務所を除く））、市立公文書館、市立博物館及び相模原書店協同組合加盟店（11店舗）において、7月14日（金）から販売を開始します。

付帯刊行物の『相模原市史ノート（第14号）』（価格720円）、『ふるさと津久井（第7号）』（価格790円）は、5月16日から販売をしております。



A5判縦 口絵カラー 1134ページ

問合せ先 市立博物館 市史編さん班
電 話 042 750 8030

(参考資料)

相模原市史統編概要

編さん計画

相模原市史統編編さん基本構想(平成14年2月策定)

[策定の趣旨]

昭和29年11月20日に市制を施行した本市は、市制施行10周年を記念して、昭和39年度から『相模原市史』の刊行を開始した。その後、昭和46年度に全7巻の刊行が完結し、以来すでに30年が経過している。

このたび本市は、平成16年の市制施行50周年を迎えるに当たり、再び市史の刊行に向け「相模原市史統編編さん事業」に着手することとした。本事業は、既成の学問領域にとらわれることなく、新たな視点から市域の歴史や現状を見つめ直そうとするものである。また、事業を進めるに当たっては、市民に親しまれ、読みやすい市史の刊行を実現するため、市民の協力を得ながら継続的な調査研究や資料収集を行うこととする。

本事業を通じて、市民の地域に対する関心と認識が高まり、貴重な自然や歴史・文化遺産が市民共有の財産として将来に継承されることを期待し、ここに「相模原市史統編編さん基本構想」を策定する。

刊行内容・計画

巻名	内容	刊行年度	
近代資料編	既刊市史にはない大正2年から第二次世界大戦終結までの文書類を中心とした資料編	28年度	
現代編	現代図録編	第二次世界大戦から現在まで(以後、戦後)の写真・図版類を中心とした資料編	16年度
	現代資料編	戦後の文書類を中心とした資料編	19年度
	現代通史編	戦後の通史をまとめた記述編	22年度
	現代テーマ編	軍都計画・基地問題・都市化に関するテーマ編	25年度
テーマ編	自然編	動物・植物、地形・地質・気象・環境に関するテーマ編	20年度
	民俗編	伝統的な暮らしや生業、伝承等に関するテーマ編	21年度
	考古編	遺跡や埋蔵文化財を中心としたテーマ編	23年度
	文化遺産編	社寺資料等の文化財や近代遺産等に関するテーマ編	26年度
別編	戦後年表・掲載資料総目録・総目次・索引等	29年度	